

【令和7年度 適性検査Ⅰ 解答例】

研究 1	課題 1	ウ
	課題 2	(例) (応援消費の特ちょうは、) 手軽に応えんすることやけい続しておこなうことができ、地域産業の復興につながることである。(55字)
	課題 3	(例) (ご意見やご感想を) おっしゃってください。
研究 2	課題 1	(例) 体力テストの全体の時間は、午前 8 時 45 分から午前 11 時 25 分までだから、2 時間 40 分である。1 時間は 60 分だから、2 時間 40 分は、 $60 \times 2 + 40 = 160$ 160 分 「先生からの説明」にかかる時間は、4 種目あわせて、 $5 \times 4 = 20$ 20 分 テスト 2 回分の時間は、4 種目あわせて、 $10 \times 2 \times 4 = 80$ 80 分 「移動」にかかる時間は、3 回あわせて、 $4 \times 3 = 12$ 12 分 「休けい」と「片づけ」は、4 種目あわせて、4 回ずつだから、1 種目あたりの「休けい」と「片づけ」の時間は、 $160 - (20 + 80 + 12) = 48$ $48 \div 4 = 12$ 12 分 「休けい」と「片づけ」はどちらも同じ時間だから、 $12 \div 2 = 6$ 6 分ずつとなる。 ( 6 ) 分ずつ
	課題 2	(例) 水とうの容積は、 $4 \times 4 \times 3.14 \times 20 = 1004.8$ $1004.8\text{cm}^3$ この水とうにお茶を 750mL 入れた後の、水とうの残りの容積は、 $1004.8 - 750 = 254.8$ $254.8\text{cm}^3$ アイスキューブ 1 個の体積は、 $3 \times 3 \times 3 = 27$ $27\text{cm}^3$ 水とうの残りの容積に入るアイスキューブの個数は、 $254.8 \div 27 = 9$ あまり 11.8 だから、最大 9 個入ることになる。 最大 ( 9 ) 個
研究 3	課題 1	( 秋田県 ) ( 栃木県 )
	課題 2	(例) 1960 年と 2023 年を比べると、肉類や牛乳乳製品の消費量が増えていることから、食生活が変わったと考えられるため。
	課題 3	(例) つりばりや矢じりを使って漁やかりをするくらしと、石包丁やくわを使って米作りをするくらしをしていたと考えられる。
研究 4	課題 1	(例) かさが開いている松ぼっくりはすき間が多くあり、空気が入れかわって新しい空気にふれる部分が多いから。
	課題 2	(例) 電磁石は、電流を流したときだけ磁石の性質をもつので、引きつけた鉄をはなすことができるから。
	課題 3	記号 $\oplus$ 理由 (例) 日によって、月と太陽の位置関係が変わることで、太陽の光を受けてかがやいて見える月の形が変わるから。